



「 地域・保護者交流フライングディスク体験 」

教務主任 長谷川 伸茂

10月12日(土)土曜参観の日に東京都障害者フライングディスク協会の方を講師にお招きし、本校でフライングディスク体験授業が行われました。本授業は2学年の生徒を対象に行われましたが、生徒だけでなく、地域にお住まいの方、2学年の保護者にも参加を募り、交流授業として行われました。

講師の方々からのお話の中で、「フライングディスクは誰でも平等に楽しめるスポーツ」とありましたが、その言葉のとおり、当日は全ての参加者に笑顔が見られました。生徒の中には休憩時間中にもディスクを投げる様子が見られ、本当に楽しんでいて、約2時間の活動が本当にあつという間でした。また、参加いただいた地域の方からも「初めて校舎内に入り、初めて生徒の皆さんと関わりましたが、楽しんでいる生徒の皆さんからエネルギーを分けてもらったし、本当に楽しかったです。」とお言葉をいただきました。これを機に、これからも地域の方とも関わり、本校のことを知ってもらい、関係を深めていけたらと思っています。最後になりますが、当日参加いただいた保護者の皆様、参加予定ではなかったけど、お手伝いいただいた保護者の皆様の協力があり、無事に楽しく体験を終えることができました。本当にありがとうございました。

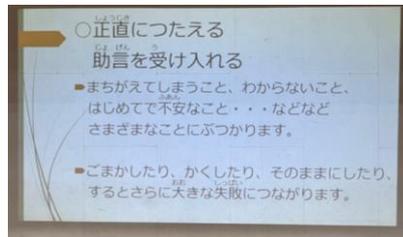
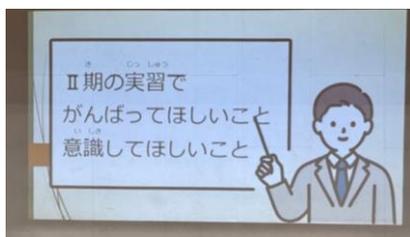


「 実習を通して考えたいこと 」

進路指導主任 根来 茂憲

10月21日(月)からⅡ期実習期間が始まりました。1年生は校内実習、2年生と3年生は引き続きトライアウト実習や現場実習に取り組みます。実習において最も挙げられるキーワードが「挨拶」です。なぜなら挨拶は、他者との関係を築くための重要な第一歩であり、身だしなみと同様に大切だからです。生徒たちが「おはようございます」や「ありがとうございます」といった挨拶をすることで、相手に敬意や感謝の気持ちを伝えられ、周囲との良好な関係を築けます。そして、清潔感のある身だしなみは、相手に良い印象を与え、挨拶と共に信頼や好感を生む要素となります。保護者の皆様には、日常生活で挨拶や身だしなみのお手本を示し、日々その重要性を伝えていただければと思います。

また、生徒の皆さんにはチャレンジする気持ちを忘れないで欲しいと思います。実習を通して、失敗して怒られるのが怖くて「やらない」ことを選ぶのではなく、「やってみる、続ける」ことで必ずできることが増えるという気持ちをもって臨んでほしいと思います。応援しています。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りの配布時期と学校サイト掲載日は前後する場合があります。